



# 環境配慮報告書 2016

東京エレクトロン宮城株式会社



**TEL**

# はじめに

東京エレクトロン宮城株式会社は、半導体製造用プラズマエッチング装置の研究開発・設計から製造までを一貫して行い、東京エレクトロングループの事業の中核を担っています。

先進技術、環境配慮技術を積極的に導入し、その技術を有効的に活用・検証するとともに、事業活動における環境負荷低減を目標にさまざまな活動に取り組んでいます。

今後も地球環境にやさしい工場運営と製品開発を推進し、宮城の地から最先端の技術と製品を世界に提供することで地域の発展に貢献してまいります。

## ◆ 東京エレクトロングループ 環境方針 ◆

※2015年度版

東京エレクトロングループは、Technology for Eco Life のスローガンの元、最先端の技術とサービスで、環境問題の解決を目指します。あらゆる事業活動において、環境負荷低減と地球環境保全を目指し、更に生物多様性にも配慮した環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

### 1. 環境目標と継続的改善

常に環境問題を幅広く調査を行い、自主目標を制定し、マネジメントレビューを含む継続的改善活動を実施し、環境関連の法令や国際的なルール等を遵守します。

### 2. 環境技術の推進

最先端技術とサービスの開発とその実現を通して、持続可能社会の実現に貢献します。

### 3. 製品での環境貢献

最先端技術を駆使し、環境配慮型製品を開発します。顧客や取引先と連携・協力し、幅広い環境問題の未然防止と改善に努めます。

### 4. 事業活動での環境負荷低減

事業活動における環境負荷を定量的に把握し、その低減を含む環境活動を従業員と一体となって、積極的かつ継続的に行います。

### 5. 社会との連携・協力

幅広いステークホルダーとの共通理解の元、連携・協力を推進し、その期待に適切に対応していきます。

# 環境マネジメントシステム

eco 東京エレクトロン宮城 環境方針

## 環境・労働 安全衛生方針

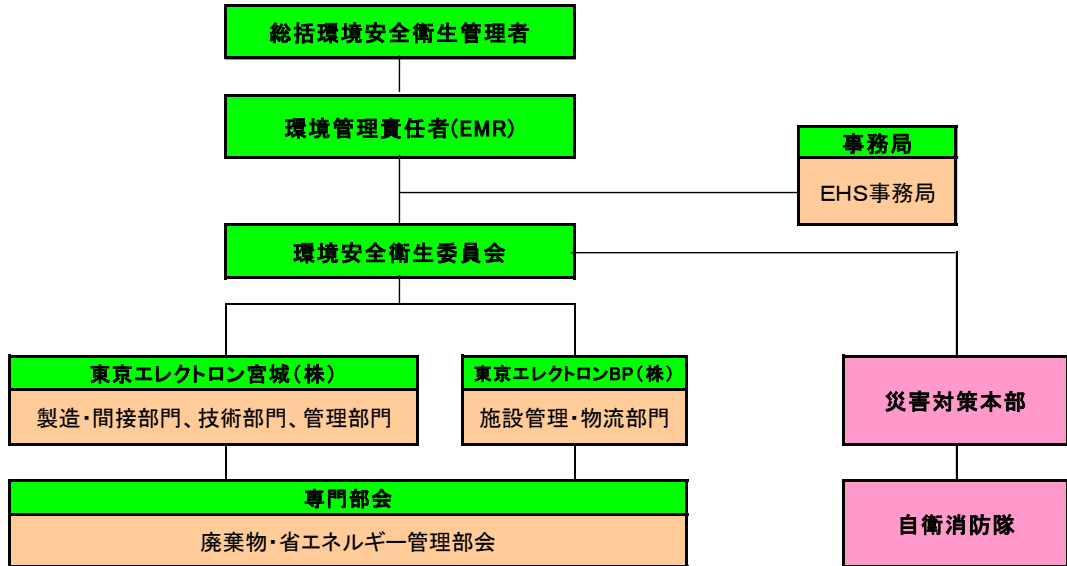
2011年4月1日  
東京エレクトロン宮城株  
総括環境安全衛生管理者

私たちは東京エレクトロングループ  
の中核拠点として、豊かな自然環境に  
恵まれた宮城県での事業活動を通じ、  
地域と地球の環境保全活動および  
全従業員の安全と健康の確保を目指し、  
以下の方針を定めます。

- (1) 事業活動において、省資源・省エネルギーに努めます。また、廃棄物削減および汚染物質の排出抑制をすすめ、環境汚染を予防します。
- (2) 環境負荷が少なく安全性を考慮した製品の開発・設計に取り組み、環境・安全に配慮した製品・サービスを提供します。
- (3) 環境・労働安全衛生マネジメントプログラムの中で具体的な目的・目標および施策を明確にし、事業所一丸となった活動を実践します。また環境・労働安全衛生管理活動は定期的に見直し、改善を行い、継続的な活動を展開します。
- (4) 環境・安全・健康に関する法律、規制等を遵守します。また、地域において実施される施策に積極的に協力し、環境の保全、労働安全の向上、健康管理を推進します。
- (5) 環境・安全・健康に関する教育を計画的に実施し、全員参加の環境・労働安全衛生活動を推進します。
- (6) 環境・労働安全衛生監査を実施し、環境・労働安全衛生マネジメントシステムの継続的な改善を行い、有効性を維持します。
- (7) 環境・労働安全衛生方針を開示するよう社外から要求があった場合には、配付もしくは公開します。

## eco EHS 管理体制

環境・労働安全衛生（Environment, Health, Safety）活動を有効に推進するため、総括環境安全衛生管理者（東京エレクトロン宮城株式会社 社長）をトップに、事業所内の全組織が参加する EHS 管理組織をつくり、活動しています。



## eco ISO14001 認証

環境管理活動としては、ISO14001 環境マネジメントシステム（EMS）規格に基づく PDCA サイクル（Plan, Do, Check, Act）を導入し外部機関からの認証承認を継続維持しております。工場全体の目標を各部目標に展開・設定し、全員参加の EMS 活動を行っています。

## eco エコファクトリーモニター

各棟のエリア単位、開発棟の装置単位でのエネルギーを記録する BEMS（Building Energy Management System）を導入しています。

各部・各セクションごと、前年対比や使用量の把握に活用しています。また、長期休暇（ゴールデンウィークや夏季・冬季休暇）時には、社内の装置類を極力停止することにより、省エネルギー化を図っています。

BEMS によりその効果を算出して、社内に公開し、社員への情報提供と意識向上へつなげています。



# 東京エレクトロン宮城（株）の環境実績データの報告

東京エレクトロン宮城（株）の2015年度の環境負荷に関して、ご報告いたします。  
インプット（エネルギー・水）とアウトプット（CO<sub>2</sub>排出・排水・廃棄物）については以下のとおりです。  
総括として、使用エネルギー原油換算量は8,418kℓで2014年度比99.3%と約1%減少いたしました。工業用水への切り替え効果により、水道水の使用量は約2,000m<sup>3</sup>減少しました。  
また、廃棄物総排出量は613tでした。産業廃棄物排出量は2014年度比96.7%で約3%減少しております。産業廃棄物のリサイクル率は99.9%でした。  
今後も、事業活動において省資源化・省エネルギー化に努め、廃棄物の削減および汚染物質の排出抑制をすすすめ、環境負荷低減に努めてまいります。

[ ] 内は2014年度実績



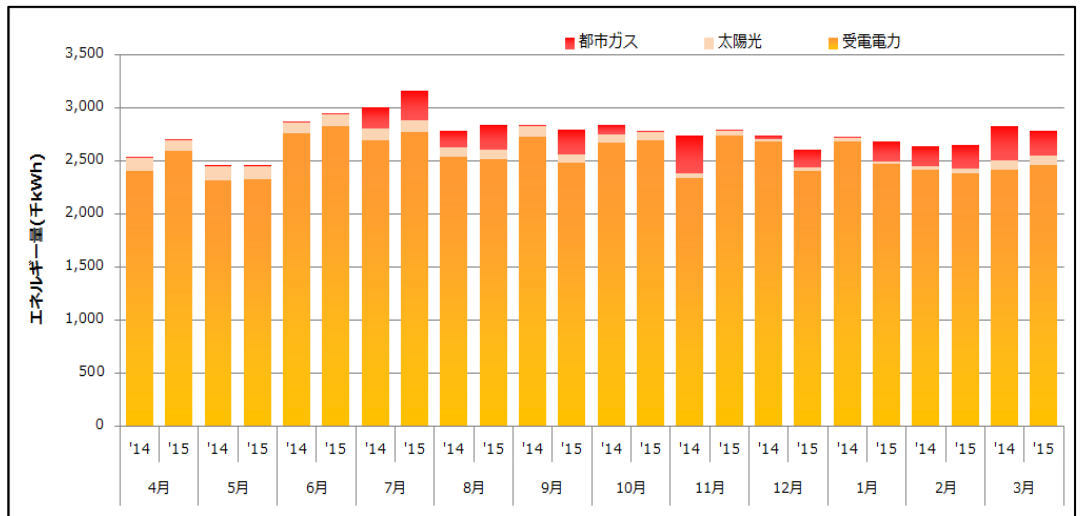
## eco 電力ピークカット

右の表は使用エネルギーの2014年度と2015年度の比較と月別内訳を比較した表です。

2015年度はピークカットを実施するため、ガス発電を中心にコージェネ運転を実施いたしました。その結果として2015年度全体の消費エネルギーに対する受給割合は、

- 太陽光発電 2.8%
- 都市ガス 4.7%
- 電力 92.5% でした。

東北電力から購入した電力量は、前年度と同等でした。  
コージェネ発電量は前年度と比べ15%増加いたしました。



## eco 廃棄物総排出量月別推移

右の表は廃棄物の総排出量について2014年度と2015年度の月別内訳を示した表です。

2015年度の産業廃棄物発生量は前年度比96.7%でした。産業廃棄物すべての項目でリサイクルを進めており、毎年ほぼ100%の実績となっております。

今後もゼロエミッションに努めてまいります。

